

46		外郭団体等の見直し	
1.政策の内容		北九州市が抱える様々な課題に対応し、公共事業・サービスの提供を安定的かつ効率的に実施するため、市からの出資金又は民間資金や人材、ノウハウを活用した外部組織として外郭団体等を運営する。	
2.基本的な考え方		①社会経済情勢の変化や市民ニーズへの対応状況を踏まえ、市が直接担うより効果的・効率的な事業運営の可能性がないか等の総合的な観点から、それぞれの外郭団体の必要性、役割、事業の実施状況や組織体制を検証する。 ②従前から行ってきた公益財団法人からの基本財産の返還に加え、利益が出ている株式会社からの配当金分配の仕組みを検討する。 ③特に民間経営の視点や財務状況の改善が必要な団体のトップマネジメントのあり方を検討する。	
3.主な関連事業		A 外郭団体21団体(別紙のとおり) B 出資法人52団体(別紙のとおり)	
担当課		市政変革推進室 その他関係部署	
KPIの例①	外郭団体に対する補助金・委託料	現状値(R5)	目標値(R8)
		約150億円	R6中に検討
KPIの例②	外郭団体に対する派遣人員数	現状値(R5)	目標値(R8)
		58人	R6中に検討
令和6年度		令和7年度	令和8年度
外郭団体の役割に沿った個別団体ごとの見直し			
事業内容の精査や経営状況の注視、市の財政支出の精査		業務内容、体制の見直し検討	
各団体共通事項			
基本財産の返還、株式会社の配当金分配の仕組み検討			
関係者からの意見聴取・方針検討		出資金等の返還、株式会社の配当金分配	
民間経営の視点が必要な団体のトップマネジメントのあり方検討			
関係者からの意見聴取・検討			